

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

11月中旬、伊那市高遠町の高遠さくらホテルで開催された長野県ソフトボール協会の今年1年の慰労と親睦を深めるために開催され

た納会に参加する。納会は県内4地区持ちまわりで開催され、今年度は南信支部が当番事務を務めた。伊那市は、27年に開催される国体のソフトボールの競技会場地として内々定され、他のスポーツも盛んな地域だ。

近年文化事業にも積極的に取り組んでおり、懇親会の前に伊那市出身の洗足学園音楽大学オーケストラ特待生として在学中の演習香さんと同級生の高橋沙織さん・厚母理恵さん・杉原正恵さんの弦楽四重奏のミニコンサートが若手の音楽家に多くの演奏機会を提

供したいとの狙いで企画された。納会に参集したメンバーは、ほとんどこの休日を大会審判等に費やし、コンサートを楽しむ機会が少ない者ばかり。年代を考慮して選曲された演奏に皆元気をもらったよう

だが叱るより褒める必要性を琉球新報の金口木吉さんのコラムが伝えた。日本ほめる達人協会が主催する「ほめる達人検定」での出題された問題「空気が読めない」「気が弱い」と短所を指摘され、傷

正しく「ほめる技術」を高める 地域になるよう考える事が大切だ

「ポーンと生きてんじゃねーよ」の決めゼリだが、自分の事のようには笑えてしまう。毎日を過ごす中で、過ちを正してくれる友人の必要性を感じてしまうのは年のせいなのかもしれない。

「ある人は多いだろう。これら言葉は長所に言い換えて・・・」。回答は順番に「主張できる、人に流されない」、「やさしい、繊細な心の持ち主」となる。心の底から相手の良さを見いだし、あらゆるものから価値を発見する。正



積雪時期に雪中カンランとして住宅近くに移動して収穫しやすくする知恵は地域から学んだ1つだ

しく褒めることは人間力を向上させると紹介した。たしかに、人を批判したり、けなしたりする言葉を聞く機会は多い事も事実だ。毎日的事象で批判や中傷(白馬村森上)

的な発言になりがちな言動にならないよう心掛けて行かなくてはと考えさせられた。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)